

# さつま町の介護保険のすがた

介護保険制度がスタートして5年が経ち、介護保険は、私たちの老後を支える制度として定着してきました。しかし、一方で介護給付費の増加に伴い介護保険財政の運営は厳しさを増しており、「さつま町」の誕生に伴い、第1号被保険者の保険料基準額も月額3,600円に改定しました。

平成17年6月で認定を受けている人は、1,730人で高齢者の19.3%に相当しており、その中で介護サービスを利用している人は、1,387人(居宅サービス1,024人、施設サービス363人)と認定者の約8割の方が介護サービスを利用されています。

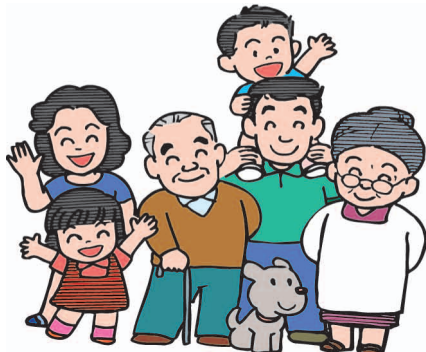
認定者の中では、要介護1の人が最も多く全体の3割を占めています。



介護給付費を見ると平成16年度は22億8千万円で、前年度に対して2千5百万円の減少となりました。これは、介護療養型医療施設の給付費の減少が主な原因ですが、要支援や要介護1の方のサービス利用が増えていることから、今後も給付費の増加傾向は続くと思われます。

在宅・施設別に見ると施設サービス費が13億1千5百万円で給付費全体の58%を、居宅介護サービス費が9億4千7百万円で41%を占めています。

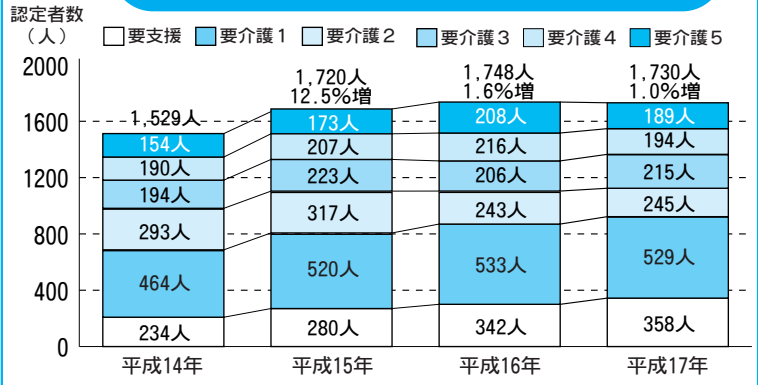
居宅サービスでは通所リハビリ、グループホーム、訪問介護、通所介護の給付費が大きな割合を占めており、特にグループホームの給付費はこの3年間で大きく増加しています。



今後も安定的に介護保険財政を運営していくためには、要介護にならないよう努める介護予防の取り組みと、介護サービスを利用しながらも自分でできる所は自分でできるように支援していくという自立支援の考えが大切です。

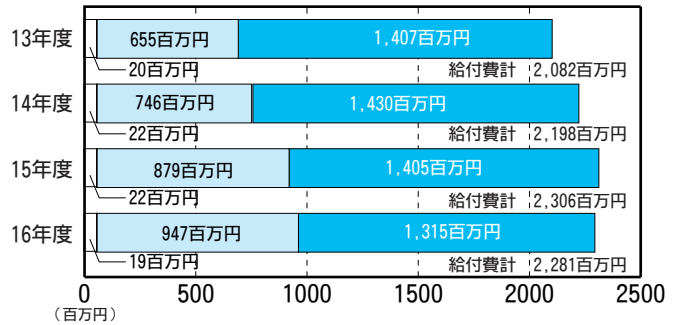
## ◆さつま町における認定者数の推移◆

※認定者平成14年度に対して13%増加、要支援・要介護1は27%増加



## ◆さつま町における介護給付費の推移◆

□高額ほか □居宅サービス費 □施設サービス費



## ◆さつま町における介護給付費の支出状況◆

(単位:千円)

区分	サービスの種類	H14年度	H15年度	H16年度
居宅介護(支援)サービス	訪問介護	132,048	161,756	148,677
	訪問入浴介護	6,760	6,533	7,615
	訪問看護	46,989	39,617	35,199
	訪問リハビリ	564	583	307
	通所介護	113,240	135,731	146,891
	通所リハビリ	178,322	198,982	185,415
	福祉用具貸与	25,351	38,757	41,543
	短期入所サービス	短期入所生活介護	39,702	45,772
短期入所療養介護	26,201	37,010	37,447	
その他	居宅療養管理指導	9,579	8,499	1,945
	グループホーム	69,711	104,194	177,493
	特定施設入所者生活介護		85	0
	居宅介護支援	76,683	81,109	100,111
	福祉用具購入・住宅改修	20,876	20,301	14,725
施設サービス		1,430,278	1,404,767	1,315,435
介護老人福祉施設	661,567	641,716	649,570	
介護老人保健施設	492,451	482,396	482,632	
介護療養型医療施設	276,260	280,655	183,233	
高額介護サービス費	18,229	18,110	15,556	
審査支払手数料	3,824	3,972	3,441	
給付費計		2,198,357	2,305,778	2,281,486